



2022年2月10日
東日本旅客鉄道株式会社

山手線の営業時間帯に自動運転導入に向けた試験を行います

- 当社は、グループ経営ビジョン「変革 2027」に掲げる「ドライバレス運転」の実現のため、ATO（自動列車運転装置）の開発を進めています。
- 自動運転導入に向けて2018年度より、山手線で終電後の時間帯にATOの試験を行い、一定の成果を得ることができました。
- 今回は営業運転している日中帯に試験を行い、自動運転における乗り心地や省エネ性能を検証します。

1. これまでの試験について

自動運転導入に向けて2018年度より、山手線で終電後の時間帯に以下の試験を行い、一定の成果を得ることができました。

2018年度：加速、定速走行、減速、定位置への停車などの運転機能の試験

2019年度：乗り心地向上や駅間停車防止に関する車両制御の試験

2020年度：列車の最適な群制御など、将来の運行管理連携を意識した試験

2. 今回の試験について

山手線全線（34.5 km）においてE235系（1編成）を使用した試験を日中帯に行い、自動運転導入に向けた技術開発を進めます。2025～2030年頃に山手線などへのATOの導入を目指します。

（1）試験内容

実際の営業列車と同様に前後に列車が走行している環境で加速・惰行・減速などの自動運転に必要な運転機能、乗り心地、省エネ性能などの確認を行います。

（2）試験日程・時間帯

2022年2月中旬から下旬にかけて5日間（日中帯）



山手線 E235 系

ATO : Automatic Train Operation